

山梨県出土の木質遺物に関する基礎データの整理

御 山 亮 濟

- 1. はじめに
- 2. 山梨県における木質遺物の出土概況

- 3. 山梨県の木材利用傾向について
- 4. まとめ

1. はじめに

日本の文化は「木の文化」と特徴付けられることがよくある。それは国土の大半が山林に覆われた風土と、その資源を衣食住や信仰など生活の各所に多く活用してきたことに由来する。その最たる例に、寺社仏閣・住宅等建造物に利用されてきた材木の多用がある。山梨県においても例外ではなく、県土の約80%が山林を占める本県の風土において、その資源活用が多様にあったことは言わずもがなであろう。しかしながら、本県における考古学研究において、木質遺物の研究はやや等閑に付されている感が否めない。それは木質遺物を出土する遺跡が少ないことが要因として挙げられるが、木質遺物を研究対象とする研究者が少なかったことも大きな要因であろう。

近年、山梨県においてはリニア中央新幹線建設の計画をはじめ、新環状自動車道や中部横断道など、甲府盆地の沖積低地域において開発事業が日々計画されている。そして、それに伴う発掘調査において木質遺物の出土が予想されている。こうした情勢の中、現在の本県における木質遺物のデータを整理し、「木の利用」の在り方を考える一助することを目的とした。

さて、ここで本県における木質遺物を巡る研究史を整理しておきたい。本県において木質遺物が着目されるのは、中央自動車道建設に伴い1980年代後半に行われた、笛吹市（旧八代町）の身洗沢遺跡の発掘調査である。身洗沢遺跡では、本県において初めてとなる弥生時代の農具の出土があり、それに伴ってこれまで全国的に行われてきた製作技法や用材傾向に関する研究が行われた（今福 1991・千野 1991）。しかしながら、本県では弥生時代における木質遺物の出土が後に続かなかったため、弥生時代の耕作目に関する研究は現在までほとんど進展していない。その後、現南アルプス市を中心とした甲西バイパス建設などに伴う発掘調査で大量の木質遺物の出土があり、同市大師東丹保遺跡における中世網代塙の出土とそれに関する畠氏の考察は、木構遺構における遺構と木質遺物の関係を再認識したものであった（畠 1997）。また、近年では山梨県内から出土した下駄を集成・分類して他地域と比較した研究が行われている（岡野 2014）。これらの木質遺物研究は、いずれも個別の木質遺物の研究であり、総体的な木の利用について論じた研究はほとんど

ない。

ここまで現在までの山梨県における木質遺物を巡る研究において、出土木質遺物の総体的な論考が少ないことを述べた。その中で2012年には山梨県を含め全国的に出土した木質遺物のデータベースが刊行されている（伊東・山田編 2012）。本稿では、そのデータベースを援用して、現在までの山梨県出土木質遺物に関するデータを提供する。

2. 山梨県内における木質遺物の出土概況

第1図には木質遺物を出土する遺跡の分布を示した。また、第1表に山梨県内の遺跡より出土した木質遺物を集成した。管見の及ぶ限りでは、34遺跡から木質遺物の出土がみられ、時代毎に区分すると56に分けられる。時代別にみると、中世に帰属する木質遺物が最も多く出土しており、次いで近世、近世～近代、古墳～平安時代で500点を超える木質遺物の出土がある。現在のところ縄文時代以前における木質遺物の出土は確認されていない（炭化材、薪炭材、炭化建築部材は除く）が、旧石器時代では山梨市兄川河床よりナウマンゾウの化石とともに



第1図 山梨県内の木質遺物出土遺跡分布図

第1表 山梨県内木製品集計表

番号	遺跡名	所在地	地域区分	標高(m)	時代区分	分類															
						工具	農具	紡織具	運搬具	漁労具	武具	服飾具	食事具	容器	楽器	祭祀具	遊戯具	文房具	建築部材	機造材	加工木
1	溝田遺跡	南アルプス市田島	峠西	259	弥生														23	1	25
2	大師東丹保遺跡	南アルプス市大師	峠西	244	弥生														10	13	23
3	金の屋無名墳	甲斐市大下条	峠中	285	弥生														6	3	18
4	身洗沢遺跡	笛吹市八代町南	峠東	270	弥生														6	1	4
5	塩竈遺跡	甲府市塩部	峠中	273	弥生～古墳														9		9
6	境沢遺跡	笛吹市御坂町成田	峠東	280	弥生～古墳													1	10	25	
7	山梨学院川田運動場遺跡群	甲府市川田町	峠中	268	弥生～中世	10	1				1	2									
8	延命寺遺跡	山梨市落合延命寺	峠東	310	古墳																
5	塙部遺跡	甲府市塩部	峠中	272～273	古墳														43	8	58
9	銚子塚古墳	甲府市中道町下曾根	峠東	255～260	古墳														8		8
10	二本側遺跡	南アルプス市十日市場	峠西	263	古墳																
4	身洗沢遺跡	笛吹市八代町南	峠東	270	古墳																
11	大坪遺跡	甲府市和戸町	峠中	260	古墳～平安	6	2	4			6	52	66		384		6	1	31	147	13
5	塙部遺跡	甲府市塩部	峠中	280	古墳～平安																
12	石橋条里制遺構	笛吹市境川町三桿	峠東	273	奈良～平安	1					1							6	1	6	21
13	上コブケ遺跡	山梨市北・南	峠東	372	奈良～平安																1
5	塙部遺跡	甲府市塩部	峠中	273	奈良～平安						3	9	36					2	4	95	2
11	大坪遺跡	甲府市和戸町	峠中	260～262	平安						1	19	1					6		2	6
14	小井川遺跡	中央市布施	峠中	253	平安													5	3	8	
15	地跡免遺跡	笛吹市御坂町成田	峠東	281	平安	2		2			6	55					2	7	2	33	27
16	平田宮遺跡	中央市成島	峠中	251	平安						1	24					1	61	2	38	136
17	平田宮第2遺跡	甲府市下河東	峠中	252	平安						8	19					79			3	109
18	柳原遺跡	北杜市長坂町大八田	峠北	720	平安	1					1	3					1		2	17	25
19	上窪遺跡	中央市日井河原	峠中	252	平安～中世						4		47				1		25	2	79
10	二本側遺跡	南アルプス市十日市場	峠西	264	平安～中世	1					1	10	7	72		2	1	3	15	21	132
17	中央市成島	甲府市下河東	峠中	252	平安～中世	3					1	2		19		1	18		9	53	
2	大師東丹保遺跡	南アルプス市丸かわ	峠中	244～249	中世	2	2	18	1	1	103	249	188	591		3	19	129	3	667	2076
20	大輪寺遺跡	韮崎市旭日町上条北割	峠北	390	中世						1	3	8				2	7			3
14	小井川遺跡	中央市布施	峠中	245	中世						1	2	75	13		3	1	4	1	3	12
21	甲府城下町遺跡	甲府市丸の内ほか	峠中	267～281	中世						3	8	11			1	1	1	6	30	
22	勝沼氏館跡	甲州市勝沼勝沼	峠東	421	中世	2	3	1			2	13	47	85		8	3	7	22	7	4
23	武庄勝頼の墓	甲州市大和町田野	峠東	737	中世						1					1					2
24	深山田遺跡	中央市夷隅寺	峠北	440	中世						3					56			46	106	
25	官派中村遺跡	南アルプス市宮沢	峠西	244	中世						2	4	52	2			16	21		97	
26	向河原遺跡	南アルプス市江原	峠西	260	中世						1	3				7		1	1	12	
7	山梨学院川田運動場遺跡群	甲府市勝沼勝沼	峠中	268	中世～中世	2	3	1			2	13	47	85		8	3	7	34	22	238
27	北河原遺跡	中央市夷隅寺	峠中	249	中世～近世						1					1					
21	甲府城下町遺跡	甲府市北口2丁目	峠中	281	中世～近世						1	2	13			2			1	1	19
28	萬福遺跡	笛吹市八代町永井	峠東	267	中世～近世						1	1				3			1	1	
10	二本側遺跡	南アルプス市加賀美	峠西	260	中世～近世						1					3		3		1	12
7	山梨学院川田運動場遺跡群	甲府市川田町	峠中	268	中世～近世	3					1	6				10		3	1	24	
21	甲府城下町遺跡	甲府市北口2丁目	峠中	280	中世～近代	13					1	28	33		2	1	30	24	39	12	184
29	鰐只河岸跡	南巨摩郡富士川町飯沢	峠南	241	近世						4	11	12			25			52		
30	小井川・小河原遺跡	中央市布施	峠中	245	近世						2	4	52	2		2	3	41	6	143	
31	甲所城跡	甲府市丸の内丁目	峠中	270	近世						1					16		21		97	
21	甲府城下町遺跡	甲府市丸の内ほか	峠中	264～281	近世	1					8	136	109		2	1	1	4	148	13	69
31	甲所城跡	甲府市丸の内丁目	峠中	271	近世						2	1	1			5		1	5		8
10	二本側遺跡	南アルプス市十日市場	峠西	264	近世						1	6	11	1	57		54	22	23	176	

登録年	登録地名	登録区分	登録件数
32	藤田池遺跡	富士川町青柳町	242
25	宮沢中村遺跡	南アルプス市宮沢	244
29	鮎沢河岸跡	南巨摩郡富士川町鮎沢	241
21	甲府城下町遺跡	甲府市丸の内ほか、甲府市丸見二丁目	263～279
33	甲府市日道跡	甲府市富士見二丁目	275
34	町屋口遺跡	南都留郡富士河川町青柳町	241～242
14	小井川遺跡	中央市布施	252
21	甲府城下町遺跡	甲府市丸の内ほか、	264～271
	総数		59
			39
			32
			33
			0
			8
			266
			817
			1087
			1
			1368
			17
			12
			59
			482
			767
			701
			1063
			6811

ハリゲヤキと同定された木片が出土している。また、縄文時代では木質遺物の出土は見られないものの、焼失建物跡から炭化した建築部材が多数出土している。なお、第1表では、炭化した材（建築部材、薪炭材等の点数が明確ではないもの）は集計から除外している。

①地域別の木質遺物出土状況

第2表に遺跡の地域別にみた木質遺物の出土状況を掲載した。なお、地域区分については以下の通りである。

峡北地域：北杜市、韋崎市

峡東地域：笛吹市、山梨市、甲州市、甲府市の一部（旧中道町）

峡中地域：甲府市（旧中道町）

上九一色村除(𠂇)、甲斐市、中

央市、昭和町

峡西地域：南アルプス市

峡南地域：早川町、身延町、南部町、富士川町、市川三郷町

現在までのところ、峡中地域および峠西地域で木質遺物の出土が多くみられる。前者においては、特に古墳時代～平安時代と近世・近世～近代に、後者においては、中世に集中する。峡中地域の古墳～平安時代は甲府市大坪遺跡、近世および近世～近代は同市甲府城下町遺跡で多く出土し、峠西地域では南アルプス市大師東丹保遺跡から大量の木質遺物の出土があり、いずれも一遺跡での出土が大きく反映された結果である。峡中地域は山梨県の県庁所在地ということもあり開発が多く行われたこと、峠西地域では甲西バイパス建設に先立ち沖積低地の調査が多く行われたことに加え、盆地の沖積低地を多く占める地質的要因も挙げられる。

時代別／地域別の木質遺物出土状況に着目すると、弥生時代の木質遺物は峠東地域・峠中地域・峠西地域にみられ、その出土点数は大差ない。弥生時代～

第2表 地域別木製品出土状況

時代\地域	峠北	峠東	峠中	峠西	峠南	合計
弥生		34	23	26		83
弥生～古墳		9	11			20
古墳		28	58	1		87
古墳～平安			720			720
奈良～平安		37	151			188
平安	25	136	279			440
平安～中世			132	132		264
中世	130	240	210	2185		2765
中世～近世		12	44	1		57
近世			697	326	213	1236
近世～近代			599		189	788
近代			134			134
合計	155	496	3058	2671	402	6782

古墳時代は峠東地域、峠中地域に木質遺物の出土がみられる。平安時代には峠北地域において一定量の出土がみられ、中世には峠北・峠東・峠中・峠西の各地域において100点以上出土している。峠南地域においては、近世以降の木質遺物のみ確認されている。山梨県内の木質遺物出土状況は、他県と比較しても中世以降の出土量が多く、大きな特徴として挙げられよう。

②器種別の木質遺物出土状況

第3表は、第1表から器種毎の総数を抽出したものである。もっとも多く出土する器種は祭祀具で、次いで服飾具や食事具、容器、建築部材、構造材といった衣食住に関する木質遺物が多い傾向にある。一方、工具や農具、紡織具、運搬具などの生業に関わる木質遺物は、弥生時代以降に普遍的に出土がみられるものの出土量自体は少ない傾向にある。

続いて、各器種の出土状況を概説する。

【工具】全体的な出土量は少なく、各時代数点に留まる。工具の柄が主体である。時代が下るにつれて工具の出土が多くなっている。

【農具】 農具は笛吹市身洗沢遺跡より又鋤、エブリなどが出土している。そのほか南アルプス市の油田遺跡から出土した豎杵がある。山梨県内の出土状況は、工具同様各時代普遍的に出土がみられるものの数点に留まる。研究分野においては、前述のとおり身洗沢遺跡出土農具の木取りや製材、製作技法についての論考がある（今福 1991・千野 1991）。

【紡織具】本県では、古墳時代～近世に至るまで糸巻の横木が主体である。大師東丹保遺跡では、一遺跡から18点の出土がある。

【運搬具】木札を主体とする。県内で最も古い時期に帰属するものは、大坪遺跡から出土した、平安時代に帰属するであろう木札状の木質遺物である。また、鰍沢河岸跡

第3表 器種別木製品出土状況

時代\器種	工具	農具	紡織具	運搬具	漁労具	武具	服飾具	食事具	容器	楽器	祭祀具	遊戯具	文房具	雑具	建築部材	構造材	加工木	不明品	合計	
弥生		6				1			1						39	17	18	1	83	
弥生～古墳															15	1	4		20	
古墳	1	2	4						1		9				3	2	56	9	87	
古墳～平安		6	2	4				6	52	66		384			6	1	31	149	13	720
奈良～平安		1						3		10		37			8	5	101	23	188	
平安	1	2		2					1	19		117		2	2	14	147	42	91	440
平安～中世			3				1	5	12	7		138			2	3	46	15	32	264
中世	4	5	19	1			4	124	387	364		607	4	4	13	265	186	38	740	2765
中世～近世	3						1	2	2	23		1			3	13	8	1	57	
近世	12	5	3	14				43	227	277	1	72	3	2	4	43	276	142	112	1236
近世～近代	26	11	1	12			1	66	126	249			10	3	30	88	16	114	35	788
近代	2							17	8	68		3		1	2		26	4	3	134
合 計	49	38	32	33	0	8	266	816	1084	1	1368	17	12	59	482	766	691	1060	6782	

や甲府城下町遺跡においては、流通の拠点・供給先といった遺跡の性格上、数多くの木札が出土している。

【漁労具】 現在までに山梨県内において木製漁労具の出土は見られない。

【武具】 本県においては、現在のところ木製の馬具は発見されていない。武具は身洗沢遺跡から出土した弥生時代後期に帰属する木剣がある。そのほか、近世に至るまで武具の出土がみられるが、一遺跡から出土する量は多くて2点に留まっている。

【服飾具】 古墳時代以降に出土事例がみられるが、主体的に出土例がみられるのは中世以降であり、大半が下駄である。下駄については、岡野秀典が県内の出土例を集成・分類を行い、山梨県における下駄の推移を全国的な傾向と対比している（岡野 2014）。

【食事具】 大坪遺跡や大師東丹保遺跡から大量の食事具の出土がみられるが、大半が箸状の木質遺物であり、その消費量と2本1セットであることを考えれば、当然の結果と言えよう。しかし、県内25遺跡から出土しており、検出頻度としては高い。箸のほかにヘラやしゃもじといった食事具もある。

【容器】 本県における出土木質遺物の集計をみると、祭祀具に次ぐ出土量をみる（加工木・不明品除く）。もっとも古い例は、大師東丹保遺跡から出土した弥生時代中期の蓋状の木質遺物である。円盤状に成形され、断面が凸レンズ状を呈する。古墳時代以降、各遺跡において一定量の出土がある。その大半が曲物、中近世では漆器椀に由来するものであるが、一部削物容器も存在する。甲府城下町遺跡では桶や樽の出土も多く、漆器に加えて当該期における容器の主体を占める。木質遺物研究において容器の研究は比較的進んでいることに加え、本県においても出土事例が多く再検討を行うべき領域であろう。

【楽器】 二本柳遺跡で警笛様の笛1点が出土しているのみである。

【祭祀具】 本県の出土木質遺物では、最も多い数を占め、24遺跡から1300点以上の出土がある。そのほとんどが

斎串もしくは斎串状木質遺物が8割以上を占める。特筆すべきものに甲斐銚子塚古墳から出土した蕨手状木質遺物・棒状木質遺物のセットで、県内では珍しい木製樹物がある。さらに、大師東丹保遺跡から出土した呪符木簡や、中世～近代においては卒塔婆など仏教関連のものもある。

【遊戯具】 中世以降に出土がみられ、甲府城下町遺跡を中心に、独楽や将棋の駒、的などが主体的に出土している。

【文房具】 木筒を含め、木板に墨書を施したもののうち、荷札などの用途が明らかでないものはすべて文房具とした。大坪遺跡出土の木筒や小井川遺跡、甲府城下町遺跡出土の墨書き版などがある。

【雑具】 一遺跡からの出土は少なく、古墳時代以前の出土例は今のところない。家具類については、部材の組み合わせにより構築されることが多々あり、出土時には各部材がバラバラに出土することが多い。そのため、一つの部材から器種を想定しなければならないことが多い、不明品や加工木の中に集計している可能性がある。

【建築部材】 弥生時代以降、建築部材の出土がしばしばみられるものの、部材を同定するまでの遺存状態を持つものは少ない。

【構造材】 水路の護岸等に使用される材で、木杭を主体とする。弥生時代以降、古墳時代を除いてほとんどの遺跡から出土している。特筆すべきものに大師東丹保遺跡から出土した網代屏などがある。

以上、ごく簡単にではあるが山梨県内における木質遺物の出土状況を概説した。調査件数の差により各時代間で出土点数が区々であるが、器種毎にみていくと、服飾具や食事具、容器、祭祀具、建築部材といった器種で各時代を通して一定量の出土がみられる。すでに個別の木製品研究に岡野氏による下駄に関する論考があるが、他の器種についても、議論の余地がありそうである。

3. 山梨県の木材利用傾向について

2012年、『出土木質遺物用材データベース（以下、データベース）』として、2005年3月までに刊行された樹種

同定結果のデータが全国的に集成されている（伊藤・山田編 2012）。ここではこのデータベースを援用して論を進めていく。なお、データベースでは各時代について前期や中期、後期と細分されて所収されているが、山梨県内においてはデータ数が少なく、時代毎に点数のばらつきが生じてしまうため、本稿においては、ひとまず大きな括りで時代を区分し、大まかな用材傾向を把握することに努めた。

巻末に記した第4表はデータベースより作成した、山梨県内の時代毎の用材選択傾向である。以下、時代毎に概説する。

縄文時代の木質遺物は、すべて焼失建物跡の炭化した建築部材と薪炭材として用いられた炭化材で構成される。器種に偏りがあるが、特に全体の約60%がクリで占められ、その他の樹種においても広葉樹材を優占して利用したようである。弥生時代には、クリの優占利用はなくなり、クヌギ節やヤナギ属、モミ属といった樹種の利用が多くなる。全体的な様相として、縄文時代に比べて針葉樹の利用量が多くなる。また、弥生時代～古墳時代にかけて、クヌギ節が大きく優占し50%近くまで増加する。弥生時代にみられたモミ属の優占はなくなっている。古墳時代以降は、クヌギ節のほかにコナラ節の利用量も増えており、他の樹種と比較しても広葉樹の優先的利用があったことが窺える。

平安時代になると、それまで優占的であった広葉樹の利用が低迷し、ヒノキやスギ、モミ属、マツ属複維管束亜属といった針葉樹の利用が増加する。特に中世以降は著しく、中世にはヒノキ属の比率が70%を越える。近世では、中世のようなある一種の樹種を極端に利用することはなくなるが、いずれにせよ針葉樹が多くみられるようである。

以上、非常に簡単ではあるが、第4表より読み取れる樹種利用の変遷を述べた。この変遷から、山梨県における樹種利用傾向について2つの変化点が認められる。一つは、縄文時代から弥生時代にかけてのクリ利用の減少で、その代わりにクヌギ節やコナラ節といった樹種の利用が増加する点である。もう一つは、古墳時代から平安時代にかけての針葉樹の優占的利用傾向である。これらの樹種利用の変遷が、どのような要因によりもたらされたものであるのかここでは論述しないが、本県における「木の文化」の形成において、非常に重要な点である。ここでは問題提起に留め、別稿にて論考したいと考えている。

4.まとめ

さて、ここまで山梨県における木質遺物の集計から見た出土状況およびデータベースを援用した県内の木材利用傾向について、基礎データの整理および問題点を数点指摘した。第1表～第3表に示した各種集計表は、これまでの本県における木質遺物の状況を改めて認識するきっかけとして、第4表の木材利用傾向については、今

後の本県における森林利用を解明していく基礎資料として提示した。本稿がこれまでの本県における出土木質遺物の個別研究から、山梨県における木質遺物の在り方を議論できる足がかりとなれば僥倖である。なお、ここで提供したデータは管見の及ぶ限り網羅したものであるが、筆者の力量不足により見落としや誤りがあると思われる。見落とし等を発見された際には、叱咤・ご助言をいただければ幸いである。

本稿のデータを収集するにあたり、石坂恵理、猪股順子、梶原初美、斎藤律子、新津多恵の各氏のご助力をいただいた。文末ながら、記して謝意を示したい。

第4表 山梨県の時代別用材傾向

樹種	縄文	弥生	弥生 ～古墳	古墳	古墳 ～平安	平安	平安 ～中世	中世	中世 ～近世	近世	近代	合計
カラマツ属							1	2	4	3		10
							1.05%	0.40%	1.17%	1.73%		0.45%
複維管東亜属	5		2		3	1	7	55	11			84
	2.96%		0.62%		1.25%	1.05%	1.39%	16.13%	6.36%			3.74%
単維管東亜属								12	9			21
								3.52%	5.20%			0.94%
マツ属						1						1
						0.42%						0.04%
マツ科								3				3
								0.88%				0.13%
モミ属	3	16	2	5	6	16		36	45	19		148
	1.78%	23.53%	1.44%	1.55%	3.13%	6.67%		7.17%	13.20%	10.98%		6.60%
ツガ属						2		1	3	15		21
						0.83%		0.20%	0.88%	8.67%		0.94%
スギ			1		2	35	1	33	14			88
			0.72%		1.04%	0.83%	36.84%	0.20%	9.68%	8.09%		3.92%
針葉樹						5	14		9	33		61
ヒノキ						2.60%	5.83%		2.64%	19.08%		2.72%
トウヒ属						0.42%	2.11%		0.29%			4
												0.18%
サワラ					13	5		1	7			26
					6.77%	2.08%		0.20%	2.05%			1.16%
ヒノキ属	2	3	5	3	43	14	49	361	29	36		545
	1.18%	4.41%	3.60%	0.93%	22.40%	5.83%	51.58%	71.91%	8.50%	20.81%		24.29%
アスナロ								1				1
								0.29%				0.04%
ヒノキ科			1			2		20	7			30
			0.72%			0.83%		3.98%	2.05%			1.34%
イヌガヤ属						4						4
						1.67%						0.18%
カヤ	5	8	5		4			1				23
	7.35%	5.76%	1.55%		1.67%			0.29%				1.02%
針葉樹			1	2	7	6						16
			0.72%	0.62%	3.65%	2.50%						0.71%

	オニグルミ	5 2.96%	1 1.47%	1 0.72%	1 0.31%	1 0.42%	1 0.20%	3 1.73%	13 0.58%
	ノグルミ						1 0.29%		1 0.04%
	クレミ科						1 0.29%		1 0.04%
	ヤナギ属	11 16.18%			6 2.50%	2 0.40%	1 0.29%		20 0.89%
	ハンノキ亜属		6 1.86%		1 0.42%	2 0.40%			9 0.40%
	ヤシャブシ亜属						2 0.59%		2 0.09%
	ハンノキ属		2 0.62%				5 1.47%		7 0.31%
	カバノキ属		5 1.55%			1 0.20%	1 0.29%		7 0.31%
	イヌシデ節	2 1.18%			2 0.83%				4 0.18%
	クマシデ節	2 1.18%							2 0.09%
	クマシデ属				1 0.42%				1 0.04%
	アサダ		1 0.31%			2 0.40%			3 0.13%
	ブナ属			4 2.08%	1 1.05%	1 1.17%	4 0.58%		11 0.49%
	ブナ科	25 14.79%			6 2.50%		2 0.59%		33 1.47%
	クヌギ節	1 0.59%	12 17.65%	66 47.48%	154 47.68%	35 18.23%	38 15.83%	1 1.05%	
								2 0.59%	309 13.77%
	コナラ節		2 2.94%	11 7.91%	69 21.36%	39 20.31%	61 25.42%	7 1.39%	4 1.17%
								3 1.73%	196 8.73%
	コナラ亜属					1 0.42%		1 0.29%	
	アカガシ亜属		3 2.16%		1 0.52%	1 0.42%		1 0.20%	
	コナラ属	4 2.37%				1 0.42%			5 0.22%
	クリ	102 60.36%	4 5.88%	2 1.44%	3 0.93%	9 4.69%	10 4.17%	4 4.21%	16 3.19%
								34 9.97%	8 4.62%
	シイ属						1 0.20%		1 0.04%
	エノキ属	1 0.59%	3 4.41%	1 0.72%		1 0.52%	3 1.25%		
	ケヤキ	4 2.37%	1 1.47%	18 12.95%	1 0.31%	10 5.21%	1 0.42%	11 2.19%	4 1.17%
	クスノキ科		2 2.94%			2 0.83%			4 0.18%
	クワ属	3 1.78%	1 1.47%	6 4.32%	10 3.10%	1 0.52%			
	カツラ属			1 0.72%	1 0.31%		3 0.88%	1 0.58%	
	モクレン属				1 0.31%				1 0.04%
広葉樹	ツバキ属				1 0.31%				1 0.04%
	ヒサカキ属						1 0.58%		1 0.04%
	ツツジ科						1 0.29%		1 0.04%
	ツツジ属						1 0.29%		1 0.04%
	ツゲ							1 0.58%	1 0.04%
	モモ		16 4.95%		2 0.83%	1 0.20%			19 0.85%

フサザ克拉					2		2				
					0.59%		0.09%				
サクラ属		2 0.62%	6 2.50%	1 0.20%	1 0.29%	4 2.31%		14 0.62%			
ナシ亜科					1 0.29%			1 0.04%			
アカメガシワ	1 1.47%							1 0.04%			
キハダ	1 1.47%				1 0.20%	1 0.58%		3 0.13%			
クサギ	1 0.59%							1 0.04%			
ヌルデ	1 1.47%				5 1.00%			6 0.27%			
カエデ属	1 1.47%	2 0.62%	1 0.52%	2 0.83%	1 0.20%	1 0.29%	2 100.00%	10 0.45%			
トチノキ属	2 1.18%							2 0.09%			
ケンポナシ属	1 1.47%	3 0.93%			2 0.59%			6 0.27%			
ハリギリ			1 0.42%		1 0.29%			2 0.09%			
ハシバミ属					4 1.17%			4 0.18%			
ミズキ属	1 0.59%							1 0.04%			
エゴノキ属					1 0.58%			1 0.04%			
トネリコ属	3 1.78%	1 0.72%	2 1.04%		10 1.99%	3 0.88%	2 1.16%	21 0.94%			
シナノキ属					1 0.20%			1 0.04%			
イヌエンジュ属					7 2.05%			7 0.31%			
カキノキ属					2 0.40%	14 4.11%		16 0.71%			
イスノキ		3 1.56%					1 0.58%	4 0.18%			
リョウブ					2 0.59%			2 0.09%			
ムラサキシキブ属			1 0.42%					1 0.04%			
広葉樹	3 1.78%	2 2.94%	4 2.88%	5 1.55%	8 4.17%	16 6.67%	1 1.05%	4 0.80%	4 1.17%	1 0.58%	48 2.14%
同定不能			7 5.04%	23 7.12%	2 1.04%	3 1.25%		2 0.40%	22 6.45%	1 0.58%	60 2.67%
合計	169	68	139	323	192	240	95	502	341	173	2 2244

【参考文献】

岡野秀典 2014「山梨県出土の下駄について一分類作業を中心としてー」『山梨考古学論集VII 山梨県考古学協会35周年記念論文集』山梨県考古学協会
今福利恵 1991「身洗沢遺跡出土の木製品」『研究紀要7』山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
千野裕道 1991「身洗沢遺跡出土木製品の樹種について」『研究紀要7』山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
松谷暁子 1991「身洗沢遺跡出土植物種子について」『研究紀要7』山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
外山秀一 1991「身洗沢遺跡の立地と稻作」『研究紀要7』山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
畠大介 1997「第1節 大師東丹保遺跡の網代の保存処理と製作技法」『大師東丹保遺跡II・III区』山梨県教育委員会ほか
伊東隆夫・山田昌久編 2012『木の考古学 出土木製品用材データベース』海青社

【第1表出典一覧】

※文頭の数字は第1表、第1図の番号と同じ

1) 保坂和博 1997『油田遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第130集 山梨県教育委員会ほか
2) 新津健ほか 1993『大師東丹保遺跡I』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第131集 山梨県教育委員会ほか
小林健二ほか 1997『大師東丹保遺跡II・III』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第132集 山梨県教育委員会ほか
保坂和博 1997『大師東丹保遺跡IV』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第133集 山梨県教育委員会ほか
3) 末木健ほか 1987『金の尾遺跡・無名墳(きつね塚)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第25集 山梨県教育委員会ほか
4) 森和敏ほか 1990『身洗沢遺跡・一町五反田遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第55集 山梨県教育委員会
5) 小野正文ほか 1996『塩部遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第123集 山梨県教育委員会
佐々木満ほか 2004『塩部遺跡』甲府市文化財調査報告24 甲府市教育委員会
佐々木満ほか 2005『塩部遺跡II』甲府市文化財調査報告30 甲府市教育委員会
志村憲一ほか 2010『塩部遺跡』甲府市文化財調査報告53 甲府市教育委員会
6) 望月和幸ほか 2004『境沢遺跡』御坂町埋蔵文化財発掘調査報告書2004-1 御坂町・御坂町教育委員会
7) 平野修ほか 2008『山梨学院川田運動場遺跡群』甲

- 府市文化財調査報告37 学校法人山梨学院ほか
8) 村石真澄ほか 2008『延命寺遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第251集 山梨県教育委員会
9) 坂本美夫 1988『国指定史跡・銚子塚古墳附丸山塚古墳』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第35集 山梨県教育委員会
吉岡弘樹ほか 2002『国指定史跡・銚子塚古墳附丸山塚古墳』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第195集 山梨県教育委員会
10) 新津健ほか 1992『二本柳遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第72集 山梨県教育委員会
11) 信藤祐仁 1984『大坪遺跡』甲府市文化財調査報告1 甲府市教育委員会
12) 森和敏ほか 1984「I 石橋条里制遺構」『石橋条里制遺構・蔵福遺跡・侃ノ下遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第3集 山梨県教育委員会ほか
13) 保坂康夫 2014『上コブケ遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第296集 山梨県教育委員会
14) 小林広和ほか 2007『小井川遺跡II』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第241集 山梨県教育委員会ほか
小林広和ほか 2007『小井川遺跡III』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第255集 山梨県教育委員会ほか
依田幸治ほか 2008『小井川遺跡IV』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第256集 山梨県教育委員会ほか
15) 小野正文ほか 1992『地耕免遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第73集 山梨県教育委員会
16) 今村直樹 2006『平田宮第2遺跡』玉穂町埋蔵文化財調査報告書第3集 玉穂町教育委員会ほか
網倉邦夫ほか 2007『平田宮第2遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第244集 山梨県教育委員会ほか
今村直樹 2008『平田宮第2遺跡(2・3次)』中央市埋蔵文化財調査報告書第1集 中央市教育委員会ほか
17) 佐々木満ほか 2001『秋山氏館跡』甲府市文化財調査報告16 甲府市教育委員会
18) 米田明訓 1986『柳坪遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第13集 山梨県教育委員会ほか
19) 今村直樹 2010『上窪遺跡(第5次)』中央市埋蔵文化財調査報告書第2集 中央市教育委員会ほか
20) 新津健ほか 1990『大輪寺東遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第53集 山梨県教育委員会
21) 志村憲一 2001『甲府城下町遺跡I-北口二丁目(桜シルク跡)』発掘調査報告書-1 甲府市文化財調査報告15 甲府市教育委員会ほか
森原明廣 2004『甲府城下町遺跡-甲府駅周辺土地区画整理事業地内43街区埋蔵文化財発掘調査報告書-1』

- 山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第215集 山梨県教育委員会ほか
- 保坂和博 2004『甲府城下町遺跡（日向町遺跡第2地点）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第220集 山梨県教育委員会ほか
- 宮澤公雄・志村憲一 2007『甲府城下町遺跡IV－集会所建設工事に伴う発掘調査報告書－』甲府市文化財調査報告39 甲府市教育委員会・財団法人山梨文化財研究所
- 吉岡弘樹 2008『甲府城下町遺跡（北口県有地）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第集258集 山梨県教育委員会
- 山本茂樹 2013『甲府城下町遺跡－甲府法務総合庁舎建設事業に伴う発掘調査報告書－』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第集292集 山梨県教育委員会ほか
- 今福利恵ほか 2013『甲府城下町遺跡－都市計画道路「古府中環状浅原橋線」街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第288集 山梨県教育委員会ほか
- 22) 室伏徹ほか 2009『史跡勝沼氏館跡－外郭域発掘調査報告書（中世編）－』甲州市文化財調査報告書第3集 甲州市教育委員会
- 23) 飯島泉 2010『山梨県指定史跡 武田勝頼の墓』甲州市文化財調査報告書第7集 甲州市教育委員会
- 24) 佐野隆ほか 2000『深山田遺跡』明野村文化財調査報告12 明野村教育委員会ほか
- 25) 新津健ほか 2000『宮沢中村遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第181集 山梨県教育委員会ほか
- 26) 米田明訓 1997『向河原遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第129集 山梨県教育委員会ほか
- 27) 笠原みゆき 2003『北河原遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第202集 山梨県教育委員会ほか
- 28) 森和敏ほか 1984「Ⅱ 蔵福遺跡」「石橋条里制構・蔵福遺跡・保ノ下遺跡」山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第3集 山梨県教育委員会ほか
- 29) 村石真澄ほか 2005『鰍沢河岸跡Ⅱ』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第224集 山梨県教育委員会ほか
- 村石真澄ほか 2006『鰍沢河岸跡Ⅲ（第1分冊）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第235集 山梨県教育委員会ほか
- 30) 小林広和ほか 2005『小井川・小河原遺跡Ⅰ』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第229集 山梨県教育委員会ほか
- 31) 八巻與志夫ほか 2005『県指定史跡 甲府城跡（上巻・下巻）』埋蔵文化財センター調査報告書第222集 山梨県
- 野代幸和 2012『甲府城跡－楽屋曲輪地点－』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第284集 山梨県教育委員会ほか
- 八巻與志夫ほか 1996『山梨県指定史跡 甲府城跡VI』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第140集 山梨県教育委員会ほか
- 32) 出月洋文ほか 2003『藤田池遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第204集 山梨県教育委員会ほか
- 33) 長沢宏昌ほか 2000『富士見一丁目遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第167集 山梨県教育委員会
- 34) 大木丈夫ほか 2000『町屋口遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第177集 山梨県教育委員会ほか
- 岩崎祥 2010『山梨県南巨摩郡増穂町町屋口遺跡』増穂町ほか
- 山本茂樹ほか 2012『町屋口遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第281集 山梨県教育委員会